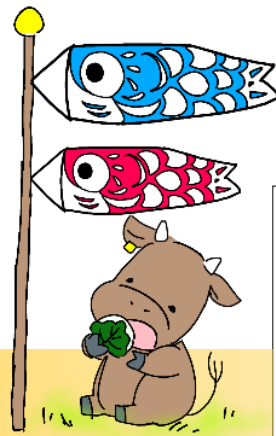


普及だより いわき

2023.5 No.160



「サンシャインいわき」
笑顔あふれる
農林水産業の未来を目指して

編集・発行

福島県 いわき農林事務所 農業振興普及部

住所 〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地

電話 農業振興課 (0246) 24-6160

地域農業推進課 (0246) 24-6161

経営支援課 (0246) 24-6162

FAX (0246) 24-6196

～就農研修生紹介～



助川 成光さん

北原 拓実さん

助川農園で
親バカトマトを
勉強中です！



北原さんは、昔から興味があった農業を始めるために、令和4年10月から、親バカトマト生産者である農業組合法人[菊田の郷 助川農園]で就農研修を開始しました。

研修品目として「トマト」を選んだ理由は、収益性があるいわき地域の代表品目であることと、なによりも、トマトが好きであったからだそうです。



研修前の打ち合わせ中…

トマトの誘引作業中です！



研修開始当初は、栽培に関する知識が全くなく、作業を覚えることが大変だったそうです。

「研修から半年が経ち、少しずつトマトの管理方法について理解してきましたが、一人前の農家にはまだまだです」と気を引き締めて研修に取り組んでいました。

研修と併せて、青年農業者クラブの活動にも積極的に参加し、就農に向け、さまざまな情報を収集するとともに、先輩農家の皆様と交流を深めるなど、着実に就農に向けた準備を進めています。

北原さんは令和6年10月からの就農を目指しています。高齢化により生産者が減っているトマトの生産振興に貢献したいと意気込んでいます。

当部では、就農研修生の円滑な研修実施、就農に係る事業活用や経営の早期安定化を引き続き支援して参ります。

～令和5年度農業振興普及部体制～

ごあいさつ

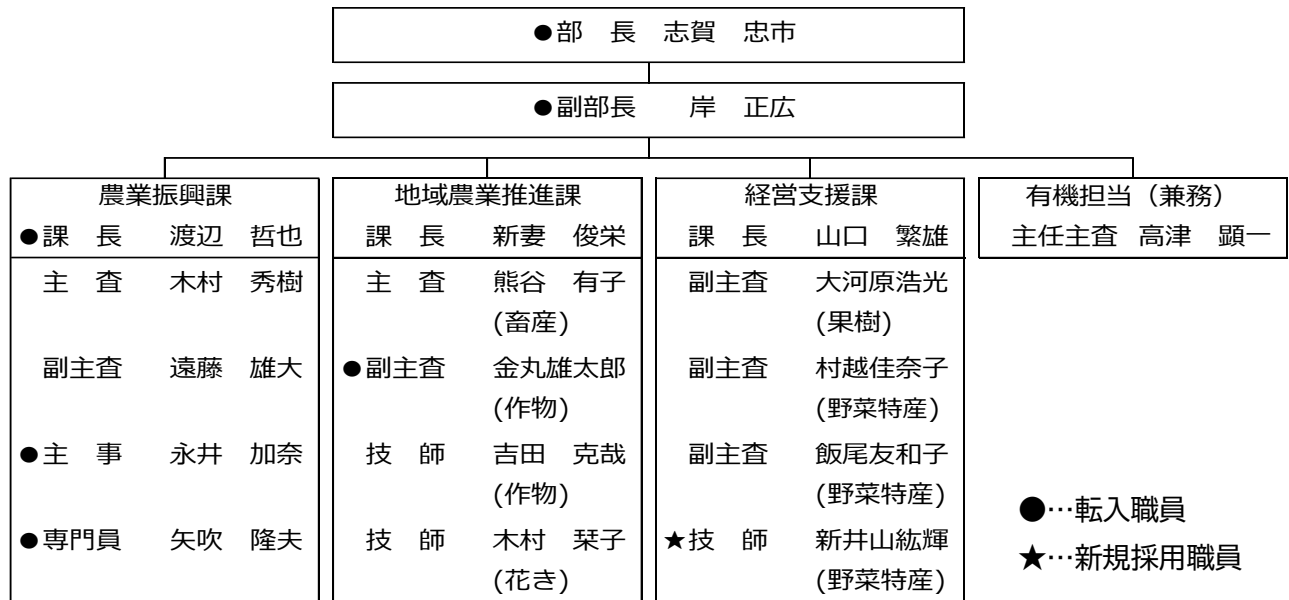
新型コロナウイルス感染症の発生・流行から3年が経過しました。今年5月からは2類相当から5類に引き下げられ、少しずつコロナ禍前の状況に戻りつつあります。一方、世界的な情勢の変化による肥料、飼料や資材等の価格高騰等、食料・農業を取り巻く環境は依然として、厳しい状況にあります。

当農業振興普及部は、本年度も、虫の目、魚の目、鳥の目をもって、「ひとづくり」、「ものづくり」、「地域づくり」の3つの視点から、普及指導活動を展開することで、いわき地方の農業の振興・発展・復興に取り組んでまいります。

農業者、関係機関・団体の皆様におかれましては、引き続き普及指導活動への、御理解と御協力をお願いいたします。
(農業振興普及部長)

組織図

令和5年度は、転入職員6名、新規採用職員1名を含む計18名で皆様を支援してまいります。



転入職及び新規採用職員紹介

志賀部長	いわきは初めての勤務となります。職員一同、サンシャインいわきの農業振興に尽力しますので、よろしくお願いいたします。
岸副部長	本庁水田畑作課より参りました。初めてのいわき勤務です。浜通りに来ると空が広いと感じます。頑張りますのでよろしくお願いいたします。
渡辺課長	相双農林事務所から参りました。前年度は震災復興を目指し業務を実施してまいりましたが、いわきでは復興の一步先を行く業務に取り組みたいです。
金丸副主査	双葉農業普及所から参りました。作物や農業青年クラブ、鳥獣被害対策などを担当します。よろしくお願いいたします。
永井主事	初めての農林事務所勤務になります。まだまだ分からないことばかりですが、早くみなさんのお役に立てるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。
新井山技師	新採用職員として、皆様の姿を見てたくさん学んでいきたいと思っております。これからよろしくお願いいたします。
矢吹専門員	再任用職員としてお世話になります。家畜防疫および畜産関係補助事業等を主に担当します。不慣れですが、どうぞよろしくお願いいたします。

先端技術でスマートな農業を！～スマート農業技術を紹介します～

エントリーNo.1 農業用ドローン



「農業用ドローン」は斑点米カメムシ防除の他、除草剤の散布や追肥の実施、播種作業等に活用され、省力化が期待できます。

【農業用ドローン活用事例】

- ① FG 剤（自己拡散性の粒剤）を用いた除草剤散布
…慣行並みの防除効果が得られ、省力化！（遠野町）
- ② 「天のつぶ」での湛水直播
…10a あたり 7～8 分で播種作業が可能。
収量は 11.2 俵/10a（会津坂下町）

エントリーNo.2 ジョイント栽培(V字トレリス※)

「ジョイント栽培」は樹と樹をつなぎ、直線状に仕立て、早期成園化や生産性の向上を図る栽培方法です。

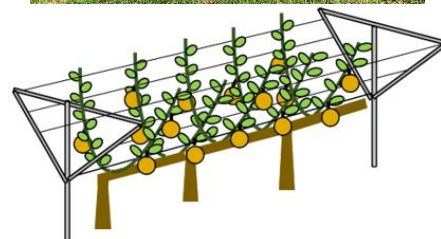
園地の若返り、規模拡大、後継者への園地継承をしたい方におすすりめです。

【ジョイント栽培の効果】

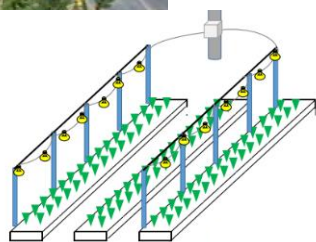
- ① 樹形の完成が早い。定植後 3 年目から収穫可能。
5 年目には慣行栽培の成木並の収量が確保可能。
- ② 樹形が単純。摘果や収穫等の作業性が大幅に向上！
作業時間の短縮に！

※V字トレリスジョイント栽培とは？

V字型の果樹棚を活用したジョイント栽培。従事の平棚ジョイント栽培より作業姿勢が改善され、生産性 UP！



エントリーNo.3 コギクの電照栽培



「コギクの電照栽培」は、気候の影響による、開花期のばらつきを少なくし、需要期を狙って計画的に出荷できる技術です。必要なのは電照設備が設置可能なほ場と、電球だけ！栽培経験の浅い方でも取り組むことができます。

【電照に適した品種】

- ① 電照によって花芽分化をしっかり抑制できる品種
- ② 自然開花期が需要期よりも早い品種
- ③ 高温でも開花遅延しにくい品種

(例) 精こまき、精しらいと、精しずえ等

スマート農業技術に関するお問い合わせは

地域農業推進課(TEL 0246-24-6161)または、経営支援課(TEL 0246-24-6162)まで！

お知らせ



農業青年クラブ会員募集中！

会では、農業先進地への視察研修を通じて会員の資質向上、若手農業者同士の人脈育成、保育園や小学校等への食育活動等、いわき市内の農業を盛り上げるべく活動を行っています！

会員は年中募集していますので、興味のある若手農業者の皆様の加入を心待ちにしています。

お問い合わせは地域農業推進課まで！

いわき市堆肥供給者リストの活用を！

リストは、販売者の氏名や連絡先、供給可能な時期、成分等が一覧表になっており、牛ふん、豚ふん、鶏ふん、馬ふん由来の堆肥を紹介しています。

栽培する品目や目的に合った堆肥を選び、地域内の有機資源を有効利用してください。なお、堆肥供給者リストはいわき市のHPからダウンロードできます。

家族経営協定を結びませんか？

この協定は、経営方針や給与、休日など働き方を家族で話し合い決めたルールのもとで、労働環境の改善に有効です。

いわき市では、令和5年3月末時点で30件が協定を締結しています。

ここ数年、後継者へ円滑に経営を移譲するために締結する経営体が増えていきます。

家族が十分に力を発揮できる就業環境を目指して、働き方改革に取り組みませんか。

GAPに取り組みませんか？

GAPとは、農業生産工程管理のことで食の安全性の確保が目的です。

令和4年12月よりふくしま県GAPは国際水準に移行し、農場経営管理および人権保護に関する項目も管理することになりました。

人にも、環境にも優しい農業生産の工程を第三者が認証する「GAP認証」は、SDGsに貢献する取組です。

県では、「GAPチャレンジ」を進め、これまでに市内では49農場が、GAP認証を受けています。

お問い合わせは経営支援課まで！

地域計画の策定へ

これまで、一部の地域で人・農地プラン（地域農業の将来のあり方）が策定されましたが、今後は法定化されて、地域計画（地域農業のあり方+目標地図）の策定が本格化します。

農業振興普及部でも、引き続き計画の作成を支援させていただきます。

認定農業者おすすめてです

5年後に所得540万円を目指し作成した経営改善計画が、いわき市に認定されることで認定農業者となります。

メリットとして、一定の要件を満たした場合、低利の制度資金の融資、経営所得安定対策、補助事業による助成を受けることができます。

興味のある方は、経営支援課までお問い合わせ下さい。

経営改善計画の作成を支援します！

モニタリング検査について

左記の山菜は、引き続き出荷が制限されていますので、ご注意ください。県内産「わらび（栽培）」を出荷できるのは、県に登録された生産者のみです。

【出荷制限】

たけのこ、わらび（野生）
ぜんまい、こしあぶら
たらのめ（野生）
野生きのこ、原木なめこ

【出荷自粛】

さんしょう（野生）



農作業事故に気を付けましょう！

ヘルメットの着用やシートベルトの装着、家族や従業員への危険な箇所の情報共有など、農作業安全に向けた、基本的な取組を実施しましょう！

また、熱中症は、5月から多くなつてきます。十分な水分補給と休憩等、基本的な対策を行いましょ！

鳥獣害対策は万全ですか？

イノシシなどの獣は、不審物を鼻で確認する習性があります。

電気柵は「心理柵」です。最初に鼻が柵に触れた時に「怖い、危険だ！」と思わせることが重要です。

電線の高さ、常時通電、電圧の強さ等、今一度、電気柵を適切に設置できているか確認し、農作物を守りましょう！

新規就農者の支援をしています

いわき市では、就農に関わる関係機関・団体を構成員とした「新規就農者等推進会議」を令和4年7月に立ち上げ、相談から就農までの伴走支援を行っています。

昨年度からいわき農林事務所農業振興普及部内に、新規就農支援に特化した就農コーディネーター（福島県農業振興公社所属）を配置し、日々の就農相談のほか、昨年10月には、いわき市で初となる就農相談会を開催しました。

農業法人で働きたい、自営で就農したいなど、農業に興味がある方は、経営支援までご相談ください！

農薬は適正に使用しましょう

左記のことに注意して適正な使用を心がけましょう。

- ① 農薬ラベルや最新情報の確認。
- ② 農薬使用後の記録。
- ③ 農薬使用時の服装。
- ④ 周辺環境への配慮。
- ⑤ 農薬の保管・管理の徹底。

福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル登録お願いします！



地域農業推進課

Tel 0246-24-6161

経営支援課

Tel 0246-24-6162